

花 開く

新緑の輝きが増し、色とりどりの草花が目を楽しませてくれる、生命力あふれる季節がやってきました。春の日差しの変化につれ、水仙、梅、桜、…と花が開き、それぞれが異なった形や色、香りで装います。その美しさに万物の創造者を思わずにはられません。

イエス・キリストは『今日あっても明日は炉に投げ込まれる野の草さえ、神はこうに装ってくださるのなら、あなたがたには、もっと良くしてくださらないでしょうか。』と、神の人への愛を語っておられます。

あなたが新たな出発をされ、これからの人生を切り開いて行こうとされる時、あなたを愛し導いてくださる神様に会われますように。きっと、あなたらしい美しい花を咲かせてくださることでしょう。

Oh! Happy Day

幸いな人生の中へ



山本 邦子

私の神様との最初の出会いは、本の中でした。海外の小説をよく読みましたが、そこには必ずと言っていいほど、神様と教会を土台として生きる敬虔な人々の姿が描かれていました。神様への信仰が日常生活の中で生きている姿は、とても不思議で、まるで別世界だと思ったのを覚えています。

やがて就職し、職場の先輩が教会に誘ってくださり、ゴスペルサービス(伝道集会)に出席してみました。語られたメッセージは、初めはよく分かりませんでした。何回か集ううちに「神様がおられて、一人ひとりを愛しておられること、人には罪があり罪の代価は死であること、私たち罪人には自分で罪の処置が出来ないこと、私の罪の罰をイエス・キリストが身代わりに受けて十字架で命を捨ててくださったこと、罪を悔い改

めてキリストを自分の救い主と信じて受け入れる者は救われること…」等々が分かってきました。今まで聞いたことがない話で、驚くばかりでした。

しかし、段々と自分に罪があることに思い至りました。私は自分さえ良ければ良いと思っており、他の人に対する愛など全く持ち合わせていなかったのです。そして信じる決断をした時に心が平安で満たされ、神様が本当におられることを知りました。

神様と共に歩むことの出来る人生は、時に紆余曲折もありますが本当に幸いです。『神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。』(聖書)